

発行所 〒102-0083
東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル内
公益社団法人日本海洋少年団連盟
電話 03(5213)4778
(年6回奇数月の1日)
5・7月合併号
購読料 1部10円(送料実費)
会員会費には購読料が含まれる
振替東京 5-13846番

海洋少年団通信

Japan Sea Cadet Federation



ちかい

1. 海のような広い心で団結し、すべての人を友とします。
2. からだをきたえ、心を養い、立派な海の子になります。

令和5年度

日本海洋少年団連盟定時総会開催

6月9日、令和5年度日本海洋少年団連盟定時総会をホテルマリアーナコート東京にお

いて開催しました。総会に先立ち14時から団長会議が開催され、①「全国大会の在り方について」、②「関係団体との連携について」、③「新団の動きについて」の説明と活発な質疑応答がなされました。

続いて定時総会が15時30分から行われ、来賓の文部科学省総合教育政策局地域学習推進課青少年教育室長

朝倉博美様、国土交通省海事局総務課海洋教育・海事振興企画室長

牛崎昇様の挨拶の後、次の議案が審議され、何れも満場一致で承認されました。

第一号議案 令和4年度事業報告及び令和4年度決算について

第二号議案 令和5年度事業計画及び令和5年度予算について

第三号議案 任期満了に伴う役員選任について

第三号議案 臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。

は、当日の総会終了時をもって理事全員が退任し、改めて理事として承認されました。

16時30分からは臨時理事会が開催されました。

第一号議案 代表理事・会長、副会長、業務執行理事・理事長の選定

第二号議案 「なは波の上団」の正会員入会の承認について

第一号議案 について

第一号議案については、代表理事・会長に村上英三氏、副会長に榊野龍二氏、林正次氏

権藤正信氏、業務執行理事・理事長に菊井大蔵氏の就任が承認されました。

第二号議案については、沖縄県において、なは波の上海洋少年団の加盟登録の申請について理事長から説明があり、入会が承認されました。

臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。

は、沖縄県において、なは波の上海洋少年団の加盟登録の申請について理事長から説明があり、入会が承認されました。

臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。

は、沖縄県において、なは波の上海洋少年団の加盟登録の申請について理事長から説明があり、入会が承認されました。

臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。

は、沖縄県において、なは波の上海洋少年団の加盟登録の申請について理事長から説明があり、入会が承認されました。

臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。



は、当日の総会終了時をもって理事全員が退任し、改めて理事として承認されました。

2023年度国際交流派遣事業の参加者決定について

韓国・香港へ5年ぶり

日本連盟では、国際交流の派遣事業と招聘事業を毎年交互に行ってきました。

韓国は、7月30日(ここの数年はコロナウ

イルスの影響で国際交流を開催できていませ

んでしたが、今年度、ISC A (国際海洋少年

団協会) 加盟各国から国際交流の招待状を受け、5年ぶりに韓国

は、当日の総会終了時をもって理事全員が退任し、改めて理事として承認されました。

16時30分からは臨時理事会が開催されました。

第一号議案 代表理事・会長、副会長、業務執行理事・理事長の選定

第二号議案 「なは波の上団」の正会員入会の承認について

第一号議案 について

第一号議案については、代表理事・会長に村上英三氏、副会長に榊野龍二氏、林正次氏

権藤正信氏、業務執行理事・理事長に菊井大蔵氏の就任が承認されました。

第二号議案については、沖縄県において、なは波の上海洋少年団の加盟登録の申請について理事長から説明があり、入会が承認されました。

臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。

は、沖縄県において、なは波の上海洋少年団の加盟登録の申請について理事長から説明があり、入会が承認されました。

臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。

は、沖縄県において、なは波の上海洋少年団の加盟登録の申請について理事長から説明があり、入会が承認されました。

臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。

は、沖縄県において、なは波の上海洋少年団の加盟登録の申請について理事長から説明があり、入会が承認されました。

臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。

は、沖縄県において、なは波の上海洋少年団の加盟登録の申請について理事長から説明があり、入会が承認されました。

臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。

は、沖縄県において、なは波の上海洋少年団の加盟登録の申請について理事長から説明があり、入会が承認されました。

臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。

は、沖縄県において、なは波の上海洋少年団の加盟登録の申請について理事長から説明があり、入会が承認されました。

臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。

は、沖縄県において、なは波の上海洋少年団の加盟登録の申請について理事長から説明があり、入会が承認されました。

臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。

は、沖縄県において、なは波の上海洋少年団の加盟登録の申請について理事長から説明があり、入会が承認されました。

臨時理事会のあとは、場所をロイヤルパークホテルに移し懇親会が4年ぶりに開催されました。

派遣国	役職	団名	氏名	学年	性別
韓国	◎指導者	南勢	清水 由佳里		女
	団員	南勢	角 明日華	高校2年	女
	団員	目白台	近藤 和心	高校2年	女
香港	◎準指導者	目白台	定友 聖	大学2年	女
	準指導者	目白台	鈴木 祥音	大学2年	男
	団員	佐伯	高野 隆太郎	大学1年	男
	団員	佐伯	高野 純	高校1年	女

全国大会の在り方について

実務者会合メンバーによる全国大会の在り方検討会では、会議及びアンケート結果を総合的に判断し、全国大会役員会へ提言し了承されたので報告します。

従来の全国大会の形式では、大会を主管する団の負担が大きく、現状の人員では主管を担うことは難しい。また、新しい団からは、競技内容についても見直しを欲しいとの意見がありました。

そのため継続可能な全国大会の在り方を模索し「引き続き開催していくことが海洋少年団活動にとっての理想」との前提で検討してきましたが、4回の実務者会合及び2度のアンケート結果から、参加人数を制限するなど開催方法等を工夫しても従来のような全国大会を今後も各地区の海洋

少年団が担っていくことは極めて困難との意見が多く聞かれました。また、次回全国大会の主管に手を挙げる地区連盟等も未だありません。

よって、在り方検討会では、現状において、いろいろな工夫をして、全国規模での従来のような大会は継続できないものと判断しました。

そこで、今後も全国の海洋少年団が切望する、モチベーション維持につながる全国大会に代わるスキームの構築は必要であることを踏まえ、2回のアンケートの回答にも多く見られた意見を中心に再構築を行いました。

提言は次の通りですが、従来と違う点は、

同時期、同一地域で行っていた式典と競技について、まずは来賓等を招いて表彰等の式典を分離・先行して行いま

す。そして次の年に全国大会の競技の部を各地域で分散して実施します。

全国大会役員会への提言

1年目は連盟主催の「式典の部」を開催。2年目は連盟と複数地域との共催での「競技の部」を開催。

具体的には、

◎式典の部は、主催を日本連盟が担い、各団から表彰者や優秀者を招聘し、競技の部開催の前年に行います。

式典は東京において、名誉総裁のお成り、来賓等の出席をお願いし、招聘団員が集い、表彰式、映像を用いた海洋少年団活動報告、訓練のデモンストレーションなど会場内での催事(2時間以内)のみとします。

地区連盟から日本連盟への共催申請を受け付けて、全国大会○○地区会場と命名のうえ、全国大会の地域会場(分散型)と認め、地区大会からの進化、移行を明確にします。

招聘団には、自らが宿泊施設を含む、旅行の手配を行ってもらい、会場まで来てもらいます。

なお同式典は日本海洋少年団全国大会中央式典(仮称)と呼称します。

◎競技の部は、地区大会の充実強化、発展を主題に、順位にこだわらない大会とするので、全国一律の枠は定めず地区の特色を十分認めることとします。

授賞式は、川崎汽船株式会社役員応接室で行われました。村上英三会長から、男女2名ずつ計4名(18歳及び19歳)に賞状と徽章が

授与され、郷古達也山縣記念財団理事長から祝辞を頂いた後、来賓と懇談し、その中で今後指導者として必要なことを学びました。

その後、第三管区海上保安本部の支援の下、羽田特殊救難基地と羽田航空基地の見学を行いました。

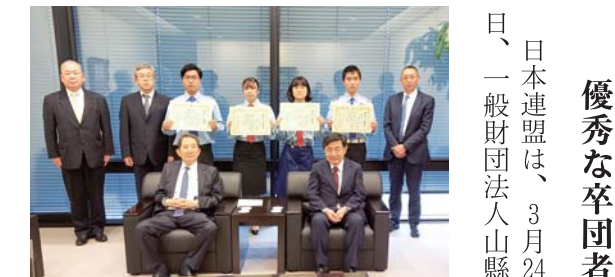
授賞式は、川崎汽船株式会社役員応接室で行われました。村上英三会長から、男女2名ずつ計4名(18歳及び19歳)に賞状と徽章が

授与され、郷古達也山縣記念財団理事長から祝辞を頂いた後、来賓と懇談し、その中で今後指導者として必要なことを学びました。

その後、第三管区海上保安本部の支援の下、羽田特殊救難基地と羽田航空基地の見学を行いました。

授賞式は、川崎汽船株式会社役員応接室で行われました。村上英三会長から、男女2名ずつ計4名(18歳及び19歳)に賞状と徽章が

授与され、郷古達也山縣記念財団理事長から祝辞を頂いた後、来賓と懇談し、その中で今後指導者として必要なことを学びました。



授与され、郷古達也山縣記念財団理事長から祝辞を頂いた後、来賓と懇談し、その中で今後指導者として必要なことを学びました。

今月の主な記事

- 2面 2面 新しい仲間が入ったよ(入団式)
- 2面 4面 各団活動報告
- 4面 初めての卒団者合宿研修、指導者資格認定者、みどりの広場、4コママンガほか



新しい仲間が入ったよ！これからいっしょに楽しく活動しましょう！！

ここに紹介した以外にも全国の海洋少年団で入団式が行われています。

船橋団



5月21日に、入団式及び総会を執り行いました。本年度は、小学3年生の男の子1名が新たな仲間として加わりました。彼は「海の生き物大好き少年」で、魚を食べるのも、魚について調べるのも好きです。休憩時間には、いろいろな図鑑を広げて見えています。指導者としては、海洋少年団の基礎訓練だけではなく、海や魚に対する彼の興味や関心をうまく伸ばしてあげられればいいなと思っています。

千葉新宿団・千葉北部団



6月11日、訓練場所で使用している稲毛ヨットハーバーで千葉新宿団・千葉北部団合同の入団式が行われ、4人の新しい仲間が入りました。入団式後は、恒例となっている指導者挨拶と団員たちの自己紹介を行いました。午後は新入団員に基本動作の指導と「シーフレンド号」でのプチクルージングを行い、その日の活動は終了となりました。

八戸団



4月2日に入団式・昇任式を行いました。式には、八戸市長で前団長の熊谷様、八戸海上保安部長外賀様、八戸漁業指導協会代表で元団長の熊谷様、八戸東ロータリークラブ青少年委員長の越後林様にご出席いただきました。前団長、元団長は、海洋少年団のキャップを被り、団員たちといっしょに記念撮影をしていただきました。新入団員14名。

下関団



6月4日にコロナ禍でここ数年行っていなかった43期、44期、45期生の入団式を今年やっと開催することができました。団員達の希望もあり、司会進行、賞状の介添え、音響の準備、号令は団員が行いました。いつもとは違う緊張感の中、団員たちによる初の式典進行でしたが来賓の方々も優しく見守ってくださいました。新入団員は、とにかく可愛い！練習したことをすっかり忘れて戸惑ったり。失敗しても間違えても大丈夫！これからも色々なことにチャレンジして楽しんで欲しいと思います。

舞鶴団



4月15日に、2名の新入団者を迎えて、舞鶴市長、教育長等の来賓出席のもと入団式を行いました。今年の入団者は、小学4年生の兄と小学1年生の妹の仲の良い兄妹です。二人を迎えて、舞鶴団も今年の活動の一層の飛躍を誓いました。ちなみに、この兄弟は、他の少年団の活動経験もあったことから、すぐに少年団活動にも馴染めており、ほかの団員とあつという間に友達になれたことに驚きました。

神戸団



4月23日、神戸団の2023年度入団式・進級式を行いました。久しぶりにマスクなしで実施です。(但し、式以外はマスクあり。連盟歌「みどりの広場」は心の声で斉唱。5月7日までは辛抱しよう。)やはり素顔の笑顔が素晴らしいです。新入団員1名。

酒田団

☆救急救命講習会☆
5月28日、酒田消防本部に於いて、団員15名とその兄弟姉妹を対象に、救急救命講習会並びに消防署内見学を行いました。犬が倒れた人を助けるというアニメーションのストーリーに準えて、脳疾患で倒れた人

の呼吸の様子や、AEDの使い方を教わりました。心臓マッサージの実技では、心臓に見立てたハート型の物体を垂直に体全体で、音を鳴らしながら押し続けなければなりません。体の小さい年少の団員は、なかなか音が出せずに苦勞していました。身近な人が危険な状態になった時に、少し

でもできることを学び、その心構えを知る訓練となりました。

千葉新宿団

☆海洋施設見学会☆
新年訓練初めとして、1月15日、千葉新宿団、千葉北部団合同で横浜博物館巡りを行いました。まず横浜海上保安部内、海上保安資料館で

不審船の見学を行い、ガイドもしていただきました。続いて初代帆船日本丸と横浜みなと博物館の見学です。内陸部より日本丸に乗り込む様子を見てみると、昔は我が団も「こじま」と言う練習船が陸の中に有り、そこで訓練をしていたのを思い出しました。

小雨がパラつく中、博物館間の移動は全て徒歩で4km程度歩いたのもあり、団員達は帰りの車内で疲れてグッタリ気味でしたが、楽しめた様で良かったです。



個人では入館する事の出来ない景色の良いタワー棟にて昼食を取らせていただきました。最後に今年4月より長期休館になる日本郵船歴史博物館です。ガイドもしていただき、小学校低学年生に

これから、海洋少年団ならではの見学や研修で、団員の楽しい記憶に残る体験を増やしたいと思いをいたしました。

東京地区連盟

☆東京みなと祭に参加☆
5月20日、21日に「第74回東京みなと祭り」が開催されました。今年から会場が晴海埠頭から東京国際クルーズターミナルに変わり、晴天にも恵まれたことから多くの観客が訪れ

ました。東京地区連盟では、ターミナルの室内に海洋少年団のブースを出展し、ロープワークの体験や青い羽根募金活動を行いました。21日は12時50分から野外のポートステージにおいて手旗信号とロープワークを披露しました。ステージの下にも団員が並び、ロープの結び方を身近で見ただけ、海洋少年団を

PRしました。観客からは大きな拍手をいただきました。

から多くの観客が訪れ



浜名湖団

☆浜名湖クリーン作戦&カヌー体験会☆

6月4日、浜名湖団とボーイスカウト浜松第19団カブ隊と合同で、湖畔クリーン作戦とカヌー体験会を実施しました。



場所の一つ、オイスカ浜松国際高校の湖畔(浜名湖の東にある庄内湖)で、主にシーカヤック・カヌーの訓練場所です。

セーリングクルーザー研修の館山寺湾「富士マリーナ」、カッター研修等の「県立三ヶ日青年の家」など以上3か所が当団の主な活動場所です。

折からの台風2号通過後で、湖畔にはざっと40種類のゴミが漂着し、保護者を含め、総勢40名の海戦術で2トングング一杯のゴミを回収出来ました。

その後、浜名湖リリーダ(団員(高校生)による正しいライフジャケットの着用方法から、パドルの漕ぎ方などが、年少の団員、カブ隊員にレクチャーされ、シー

小浜団

☆団員募集と海洋少年団活動をPR☆

小浜団は、5月5日のこの日に、小浜漁港川崎岸壁で開催

カヤック・カヌーに馴染んで湖の風を楽しみました。浜名湖団は、浜名湖ならではの活動として「水辺の安全啓蒙活動」と「マリンスポーツ体験格差の解消活動」があります。7月には、車いすの子どもでも乗れるハンザ級ヨット体験や8月には、浜名湖海上安全パトロール(ライフジャケット着用促進呼びかけ)を実施します。地域貢献を大切にす



された、小浜市主催の「働く乗物大集合」イベント会場において、小浜海上保安署のブースを利用して、団員募集活動を実施しました。巡視艇「あおかせ」の見学には、小浜市内外から多くの方が並んでいましたが、見学開始直前になって海難事故が発生し緊急出動したため、団員たちは予定した資料を全部配り、海洋少年団活動をPRしました。

福井県連盟

☆合同合宿☆

5月13、14日に令和5年度福井県連盟の合宿を国立若狭湾青少年

小浜団に加え、お隣京都府の舞鶴団にも初めて参加しました。小浜団は、浜名湖ならではの活動として「水辺の安全啓蒙活動」と「マリンスポーツ体験格差の解消活動」があります。7月には、車いすの子どもでも乗れるハンザ級ヨット体験や8月には、浜名湖海上安全パトロール(ライフジャケット着用促進呼びかけ)を実施します。地域貢献を大切にす



また夜は、ロープワークを行い、グループで教え合う実りのある訓練を行いました。次の日は、雨が降ったり止んだりしている状況でしたが、安全を確認して海の活動を決行しました。小学5年生以上は普段触ることのない9mカッターを漕艇し、小学4年生以下は浜でインディアンカヌーを体験しました。最初は、よそよそしかった団員も、時間が

検ツアーや大階段を使ったグリコじゃんけんを楽しみました。

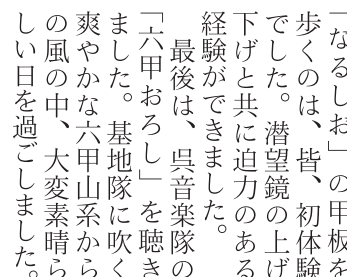
雨が降ったり止んだりしている状況でしたが、安全を確認して海の活動を決行しました。小学5年生以上は普段触ることのない9mカッターを漕艇し、小学4年生以下は浜でインディアンカヌーを体験しました。最初は、よそよそしかった団員も、時間が

神戸団

☆神戸まつり☆

5月28日、4年ぶりに実施された「第50回神戸まつり」のパレードに、大阪みなと団、姫路団と一緒に参加しました。

天候に恵まれ、多勢の観客の前を手旗で送信しながら海洋少年団をPRしました。参加した団員達は皆、堂々とした姿で久しぶりの行進を楽しみました。



6月17日、梅雨の合間の晴天のもと、海上自衛隊阪神基地隊のサマーフェスタに参加しました。このフェスティバルには何度か参加していますが、潜水艦「なるしお」の甲板を歩くのは、皆、初体験でした。潜望鏡の上げ下げと共に迫力のある経験ができました。最後は、呉音楽隊の「六甲おろし」を聴きました。基地隊に吹く爽やかな六甲山系からの風の中、大変素晴らしい日を過ごしました。

広島県連盟

☆タウンミーティング手旗で歓迎☆

6月3日、広島県呉市において海事振興連盟主催のタウンミーティングが開催され、海事振興連盟所属の国会議



員、関係団体、行政機関の関係者など多くの方が出席する中、開催前のオープニングセレモニーとして、広島県連盟(尾道団、福山団、三原団、呉団)の団員達が、手旗による歓迎のメッセージを披露しました。

団員達は、大勢の前で緊張しながらも「ヨウソクレヘ」と丁寧な動作で手旗を披露することができました。

出席者からは、団員達の規律正しい様子に盛大な拍手が送られるとともに、衛藤征士郎会長からは、全国で、100団、5千名の団員を目指して、海洋少年団を応援していくとの発言がありました。

呉団

☆カッター訓練開始☆

呉団は、今年度の活動計画に基づき、5月に2回のカッター訓練



を実施しました。当団は、海上保安大が近くにあり、結団式を海上保安大で実施した関係から、学校が保有する6メートル級カッターを借用して訓練を実施しますが、参加団員の人数が少ないため、6本の漕を親子あるいは兄弟で漕いだり、気の持ちの良い汗をかきながら楽しい訓練を行っています。

山口県連盟

☆山口県連盟大会を開催☆

3月18日・19日、県連盟の岩国団、宇部団



下関団46名が参加し、岩国海上保安署長に来賓としてご出席頂き、山口県連盟大会を開催しました。コロナ禍で大会に出場出来ずに卒団した元団員も参加できるように配慮し、久しぶりに日頃の訓練の成果を発揮しました。

18日の手旗送受信競技では、受験や就職活動などで訓練に参加出来なかった団員もいましたが、本番では満点(50点満点)2団、49点1団と、上級生の実力を十分発揮し、年少団員の模範となる緊張感のある競技となりました。

19日のロープワーク競技開始までの練習時間では団の垣根を越えて班長達が年少団員に教えている光景が見られました。宿泊は3団合同で4班を編成し、団員同志良い交流となりました。高・中等級団員は、久しぶりの大会の雰囲気を楽しみ、初等級・教育級団員は、初めての大会がどのようなものかを感じることが出来、また高等級が真剣に競技に臨む姿勢は、中等級以下の団員には良い刺激になったと思われま

浜田団

☆地域の人とウォーキングで交流☆

6月3日、浜田市長浜まちづくりセンター、事業のウォーキングに、団員5名、保護者3名、指導者2名の計10名が参加しました。長浜まちづくりセン



ターから道の駅「ゆうひパーク浜田」の往復約7kmを歩き、全員が完歩しました。当日は天候にも恵まれ、鮮やかな新緑の中、皆が爽やかな汗をかきました。また、地域の方々のふれあいの中で交流を深め、楽しいひと時を過ごすことができました。



初めての卒団者合宿研修



日本連盟は、3月25日・26日、今春海洋少年団を卒団した団員を対象とした卒団者合宿研修を「同年代の団員が参加。今後、指導者になるための心得や海洋活動の安全対策、訓練プログラム策定の留意点などを学びました。新型コロナウイルス感染症拡大により、この3年間は活動が制限され、昨年開催予定であった全国大会の中止などで団員同士の交流もままならなかったため、同じ世代の交流を重視した研修を行いました。

また1月に発足した浜名湖団のオイスカ浜松国際高校1年生3名が研修を見学しました。研修の主要項目としてカッター訓練を計画していたのですが、あいにくの悪天候で訓練を断念しました。

今回は、トライアル研修であったため、来年度はもっと多くの研修生を募り、本格的なカッター訓練を計画したいと思っています。

研修の成果として、参加団員が連携して今後も指導者としての海洋少年団活動へ関わり続けてくれることを期待します。

九州北部地区連盟

☆11団合同合宿の実施☆



3月4日・5日、福岡県篠栗町において11団84名が集い、第19回合同合宿を行った。合宿1日目は、「テーマ「いろんな『はる』をみつけよう」にちなんで級別の講話、隊別等の基本訓練、人間オセロなどのレクレーションを行った。

2日目は、テーマにちなんだ訓練(ロープやテントを張るなど)を隊別に受講したのち、写真を布袋に貼る作業をして、記念品作りを行い、閉

岡県篠栗町において11団84名が集い、第19回合同合宿を行った。合宿1日目は、「テーマ「いろんな『はる』をみつけよう」にちなんで級別の講話、隊別等の基本訓練、人間オセロなどのレクレーションを行った。

2日目は、テーマにちなんだ訓練(ロープやテントを張るなど)を隊別に受講したのち、写真を布袋に貼る作業をして、記念品作りを行い、閉

みどりの広場

「がんばった合しゆく」

敦賀団 今堀 咲希

私は、この前の合宿の前で発表できて、でロープワークや、て「イロハ」を全部おぼえたで、できなかった事ができるようになった。とくに「エ」や「キ」はむずかしいので、おぼえるのがむずかしいです。がんばっておぼえたいと思いました。

それぞれは今後、家や海洋少年団でしっかりべん強していきたいです。

ロープワークや、てばたは、それぞれががんばっておぼえ、こんどは私が下の子に教えてあげたいなあと思いました。

「なげなわむすび」や「もやいむすび」など、いままでもできなかった事を、みるに団や、おぼえたいと思いました。

それぞれは今後、家や海洋少年団でしっかりべん強していきたいです。

ロープワークや、てばたは、それぞれががんばっておぼえ、こんどは私が下の子に教えてあげたいなあと思いました。

【指導者資格認定者】
令和5年3月17日の資格審査委員会で認定された方は次のとおりです。

天王団	保坂 隆幸
酒田団	兜森 宏征
鹿野 伸	
霞ヶ浦団	
石渡 琢磨	
市原 平和	
藤沢団	牧島 正行
敦賀団	田近 哲康
高橋 佑佳	
舞鶴団	佐々木 弘志
熊本の火の国団	
奥村 龍則	
竹脇 伸男	
宮古島団	
大熊 範彦	
原 愛美	

長崎県連盟

☆県知事賞を受賞☆



6月2日、長崎県庁大会議室において、長崎県青少年育成県民会議主催による「長崎県子ども・若者応援団表彰」において、長崎県教育庁生涯学習課の推薦により、「青少年健全育成・支援部門」の

知事賞を受賞しました。これは、「子ども・若者を育成支援する活動、及び、子育てと子育てを担う家族を支援する活動において、顕著な功績があった企業・団体又は個人を表彰することにより、社会全体で子ども・若者及び子育て家庭を支援する機運を醸成すること」を目的としているもので、長崎県連盟の長年

表彰状



(連盟より)受賞おめでとうございます。これからも活躍を期待します。

日本海洋少年団連盟 総務部長着任挨拶

小宮山 永



7月に着任いたしました小宮山永と申します。これまで海運会社

新たな海洋少年団の設立やその結団式、全国大会、国際交流のリーダーや国際会議への出席等、多岐にわたる業務をこなしていただきました。

後任には、同紙面で紹介しているとおり、総務部長に小宮山永氏が着任しましたので、

36年を過ごしてきました。小学生の折、当時富山県水見市にあった海洋少年団の団員の方のお宅に泊めていただいたこともあり、ご縁を感じています。

世界に蔓延したコロナ禍や昨今の複雑な国際情勢をみますと、島国である日本が豊かである安全に繁栄していくには、海洋に関わる人

引き続きよろしくお願います。

2 イベント情報提供のお願い
連盟のホームページでは、海洋少年団の活動を身近に感じてもらうように、各団からいただいたイベント情報を一般の方向けに掲載しています。

例として、「海洋少年団主催でカヌー体験教室をやります」、「地域のまつりに参加してパレードに出演します、出展ブースを開設してロープワーク教室を行います」などの各団イベント予定を連盟にお寄せください。

福岡団

☆博多どんたくでパレード☆

5月3日・4日にかけて、「博多どんたく港まつり」が4年ぶりに通常開催され、3日のパレードに福岡団・門司団が合同で参加しました。

団員23名、指導者11

名が参加し、約1kmのパレードコースを沿道からたくさんの方の応援を浴びながら、団員たちは「手旗のドリル」を立派に披露しました。

オランダ語のVondelaar (休日)が語源とされる「博多どんたく」は、平時は2日間で2000万人もの観客動員数を数える全国有数の祭りで、840年もの歴史を有するどんたくの起源は、博多松離子(ま



つばやし)とされています。福岡団は、近隣の団と協力し、この祭りに毎年参加しています。

ひろみ VOL.165



連盟だより

1 連盟の人事異動について

6月30日付で、中島幹夫氏が退職しました。平成28年7月から7年間にわたり、総務部長、参与の職に就き、

2 イベント情報提供のお願い

連盟のホームページでは、海洋少年団の活動を身近に感じてもらうように、各団からいただいたイベント情報を一般の方向けに掲載しています。